

ラクラク重量計測

ウェイフォーク

ウェイフォークは、リフトのフォーク機能と重量計測機能を同時に併せ持ち、簡単で効率的な荷役作業を実現します。また、油圧配管不要で、取付コストも低減できます。

簡単着脱

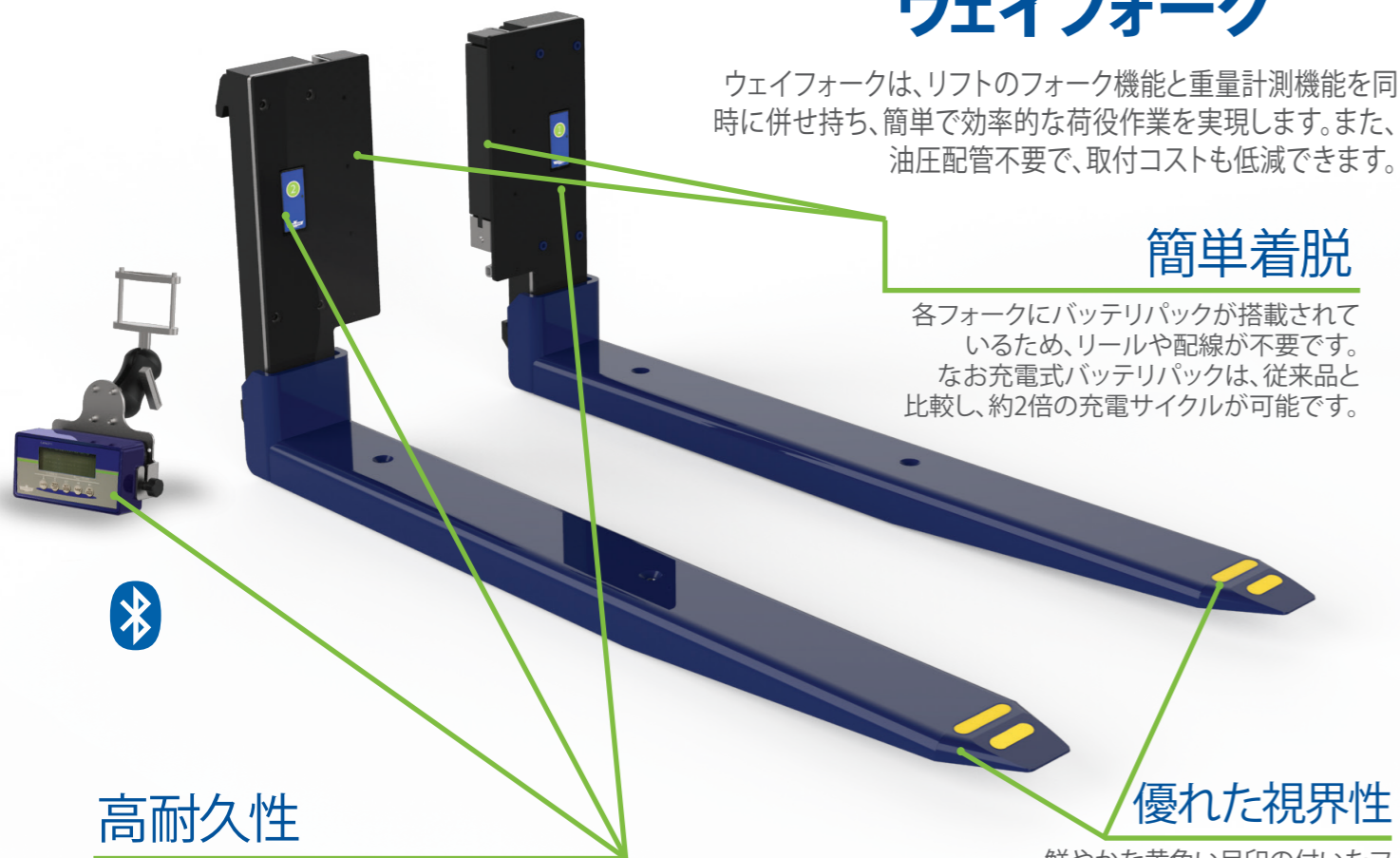
各フォークにバッテリーパックが搭載されているため、リールや配線が不要です。なお充電式バッテリーパックは、従来品と比較し、約2倍の充電サイクルが可能です。

優れた視界性

鮮やかな黄色い目印の付いたフォーク先端により、運転席からも容易にパレットへ差込むフォークを確認できます。

高耐久性

Bluetooth® 送信機とキャリアレーションボードがフォークに内蔵されているため外部からの衝撃を防ぐことができます。

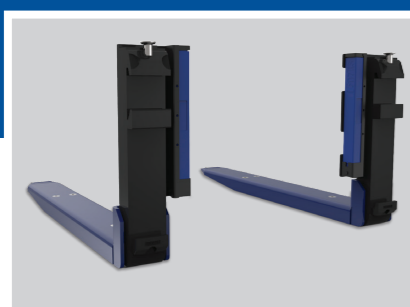


cascade FORKS+



フォークに様々な機能を付加した Forks+ (フォークスプラス)

モバイル重量計測オプション&アクセサリ



ローテータウェイフォーク

ローテータに取付け可能なウェイフォークで、原料の投与、充填、廃棄物管理などの現場で使用可能です。



シャフトタイプフォーク

シャフトタイプフォークにより、リール車への取付が可能です。



プリンタ

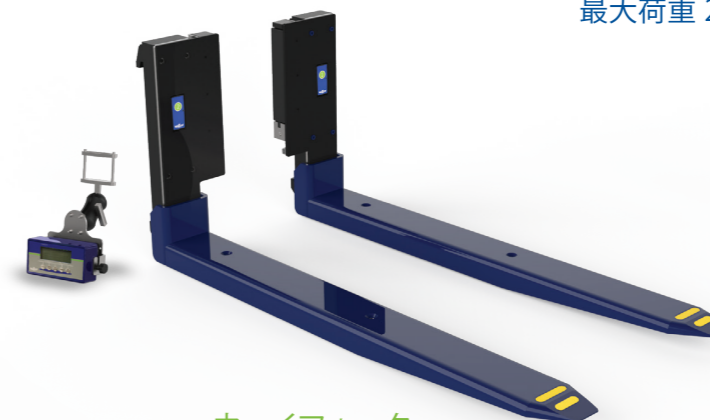
感熱式プリンタ、ドットプリンタまたは、バーコードプリンタにより、重量データを瞬時に出力できます。



リーチフォーク
最大荷重5,800 kg



ローラーフォーク
最大荷重 2,500 kg



ウェイフォーク
最大荷重 5,000 kg

カスケード(ジャパン)リミテッド

本社 〒661-0978 兵庫県尼崎市久々知西町2丁目2番23号 TEL:06(6420)9771(代) FAX:06(6420)9777

●北日本営業所 ●南関東営業所 ●東京営業所 ●名古屋営業所 ●北信越営業所 ●近畿営業所 ●中国・四国営業所 ●西日本営業所

油圧式リーチフォーク

伸ばして届く

トラックへの片側からの積込み、荷下しを可能にします。

リフト作業の効率性を高めるリーチフォークは、トラックや、貨物列車への片側からの荷物の積込み、下し作業を可能にします。これにより、作業のために車両の反対側へ回り込む必要がなく、さらに荷物を並べてラックへ保管することができます。

簡単装着

ISO ITA 2型、3型、4型
マウンティング 標準。



優れたメンテナンス性

フロディバイダやバルブの追加取付不要（一部モデル除く）。

作業コスト低減

伸長式フォークにより効率的な荷役作業と作業コスト低減を実現。

たわみ低減

高強度の材質により伸長時のたわみを低減。

高耐久性

強化型ヒールプレートにより耐摩耗性向上。

安定したハンドリング

再同調するピストンにより確実なシリンダの同調性を確保。

高駆動力

2本シリンダ（該当機種）で強力で駆動。

基本機能・構造:

1. フォーク1とフォーク2のシリンダ動作における油量が一致し、フォークのペアの動きが確実に同調する。
2. 同調は伸縮時に制御され、バランスの取れた動作を可能にする。
3. 確実に再同調させるため、最も収縮された時に同調リセットのオイルフローがあります。（一部モデル除く）



手動式リーチフォーク

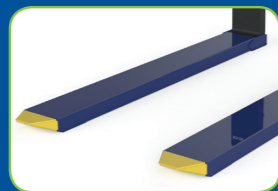
手動式リーチフォークは、油圧配管不要で簡単にフォークリフトへ着脱できます。従来のサヤフォークに比べ、リフトに取り付けたままにしておける為、コストや着脱に要する時間の節約、省スペース化に貢献します。また、サヤの長さを手動で調節出来るのも本製品の特長です。



フォークが伸長することで効率的な荷役作業を実現。



手でピンを動かすことでフォークの伸縮を調整します。



パレット等への引っ掛かりを防ぐ革新的デザインのサヤ。



標準ISO規格フック採用でリフトへ簡単着脱可能。油圧配管も不要。

標準パレットやシートパレットを楽々ハンドリング!

ローラーフォーク使用により、フォークリフトの可能性が広がります。



優れたメンテナンス性

油圧配管接続不要で、簡単着脱。

ローラーフォーク

この特殊なフォークは、ローラ機構が採用されており、パレットやシートパレットに積載された荷物、箱物や袋物など幅広い荷物の素早い積み降ろしを可能にします。

標準のフォークリフトキャリアッジへ簡単に取付でき、軽量なため、荷役現場の生産性、効率性向上に寄与します。



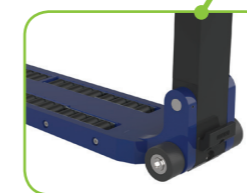
生産性向上

ローラ機構により、素早い荷の積み降ろしを実現。



容易なオペレーション

収納時には折り畳み可能。マストのチルト前傾により確実に地面に接地。



高い汎用性

標準パレット作業とシートパレット作業の併用が可能となり、費用対効果の向上へ寄与。

基本機能・構造:

上下2段のローラが互い違いに接触し配置されています。シートパレット下面へ挿入し、荷物を持ち上げます。

1. 挿入時、下段ローラは前進方向へ回転、上段ローラはシートの動きに合わせて挿入方向へ回転します。
2. フォークが地上から浮くと、ローラはフォーク本体上面から沈み込み、搬送中の荷物はフォーク本体で支えられるので滑ることはありません。
3. 再度、フォーク下面が地面等へ設置すると、ローラがフォーク本体上面から出るため引き抜き可能となります。引き抜く際は、ローラが逆回転となりスムーズにシート下面を滑るようにローラフォークが引き抜かれます。

